



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日
東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ 上場取引所
 コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼執行役員社長（氏名）朱峰 玲子
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役兼執行役員経営企画担当（氏名）家島 広行 TEL 03(5411)7222
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,381	△0.4	△26	—	△23	—	△28	—
2025年6月期第3四半期	1,387	△2.2	2	△90.7	5	△83.0	0	△99.8

（注）包括利益 2026年6月期第3四半期 △4百万円（－％） 2025年6月期第3四半期 △8百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△2.43	—
2025年6月期第3四半期	0.00	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,836	495	26.9
2025年6月期	1,773	505	28.4

（参考）自己資本 2026年6月期第3四半期 493百万円 2025年6月期 503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,840	△0.2	△120	—	△118	—	△123	—	△10.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	11,642,100株	2025年6月期	11,642,100株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	100,048株	2025年6月期	100,048株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	11,542,052株	2025年6月期3Q	11,640,592株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、地政学的リスクの高まり、為替の急激な変動、資源価格の高騰、通商政策など米国の政策動向による影響等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。また、消費環境におきましては、個人消費が緩やかに持ち直してきたものの、物価上昇の継続を背景とした節約志向の高まり、消費マインドの冷え込み等、消費の鈍化も見られるようになりました。

当社グループが属する美容業界におきましても、物価上昇を背景とした節約志向の高まり、消費マインドの冷え込み等に起因した来店サイクルの長期化などが見られております。また、業界全体として美容師をはじめとした人材の流動性が高まっており、優秀な人材確保がより重要な課題となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、2024年9月26日に公表いたしました中期経営計画に基づき、経営基盤の基礎をしっかりと固めるべく、人的資本経営の強化、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。美容業界で上場する数少ない企業グループとして、そして、リーディングカンパニーとしてDX化・GX化を推進することで業界全体のプレゼンス向上に資する取り組みにも注力しております。また、美容室運営事業においては、美容業界で大きく成長を続ける株式会社ECLARTと2025年11月に業務提携契約を締結し、双方が持つ経営資源と専門性を活かした協業を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、直営サロン運営事業、ヘアメイク事業、美容室支援事業が堅調に推移し前年同期に比べ微増となったものの、BSサロン運営事業及びキャリアデザイン事業の減収を補うには至らず、全社としても減収となりました。

営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益の各段階利益におきましては、減収の影響、コスト削減に努めるものの原材料価格の高騰や人件費、物流費をはじめとした諸経費のコスト増加に伴い、いずれも営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失となり、前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,381,437千円（前年同期比0.4%減）、営業損失26,018千円（前年同期は営業利益2,966千円）、経常損失23,759千円（前年同期は経常利益5,996千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失28,048千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益31千円）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン11店舗（モッズ・ヘアサロン9店舗、美容室セラヴィ1店舗、エテルネサロン1店舗）を展開しております。

2025年11月に株式会社ECLARTとの業務提携契約に基づく新たな取り組みのひとつとして新ブランドのカラー専門店「E:terne（エテルネ）大宮店」を2026年2月28日にオープンいたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は堅調に推移したものの、原材料価格の高騰や人件費の増加の影響、新店舗出店に係る費用の発生等により前年同期に比べ増収減益となりました。また、美容業界での人材の流動性が高まっており、今後の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、一定のコストの先行は許容しつつ人材の確保並びに育成に引き続き注力しております。前述の株式会社ECLARTとの協業による採用並びに集客の強化は競争力を高める一手になるものと考えております。

当第3四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高703,014千円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益27,156千円（前年同期比43.8%減）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第3四半期連結累計期間の店舗数の異動は国内の閉店4店舗、韓国の閉店2店舗、台湾の出店1店舗、中国の出店1店舗及び閉店4店舗であり、当第3四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内34店舗、韓国7店舗、台湾4店舗及び中国2店舗の計47店舗となっております。BSサロン運営事業においては、プライベートブランド商品（PB商品）をはじめとした商品販売に注力しており、PB商品売上は堅調に推移しているものの、前年同期に比べBSサロンの稼働店舗数が減少したことに伴い前年同期に比べ減収減益となりました。また、直営サロン運営事業と同様に前述の株式会社ECLARTとの協業によるメリットはBSサロンにおいても享受できるものと考えております。

当第3四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高168,917千円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益48,374千円（前年同期比7.5%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、スタジオ、ブライダル各部門が前年同期に比べ売上高及びセグメント利益はいずれも微減となったものの、メディア部門が前年同期に比べ増収増益で推移し、売上高295,293千円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益14,395千円（前年同期比52.1%増）となりました。

(美容室支援事業)

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、SCAT株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、SCAT株式会社をはじめ、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移する一方で手数料率の競争の激化は継続しているものの、当第3四半期連結累計期間においては、売上高89,569千円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益56,257千円（前年同期比1.3%減）となりました。

(キャリアデザイン事業)

当社グループでは、キャリアデザイン事業として人材派遣事業、人材紹介事業を展開しており成長戦略の柱の一つとして位置付けております。

キャリアデザイン事業につきましては、主力の人材派遣事業において従来の販売職の人材派遣からタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等にも注力することで着実に件数を伸ばしてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間におきましては、人材不足によりスタッフの派遣件数が前年同期に比べ減少する結果となり、売上高190,066千円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益10,449千円（前年同期比7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ62,267千円増加し、1,836,109千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少78,956千円、商品の増加22,232千円、未収入金の増加27,471千円、有形固定資産の増加21,123千円、投資有価証券の増加33,371千円、差入保証金の増加43,344千円などによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ72,818千円増加し、1,340,817千円となりました。主な要因としましては、短期借入金の増加50,000千円、未払金の増加48,258千円、長期借入金の減少10,804千円、未払消費税等の減少11,236千円などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10,550千円減少し、495,292千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失28,048千円、配当金の支払額5,771千円、その他有価証券評価差額金の増加23,269千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想につきましては、直近の業績の動向を踏まえ、2025年8月15日付「2025年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年5月14日）公表の「2026年6月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,512	494,556
売掛金	109,079	107,897
商品	80,645	102,878
未収入金	748,271	775,742
その他	25,548	26,844
貸倒引当金	△530	△1,279
流動資産合計	1,536,526	1,506,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,104	237,846
減価償却累計額	△192,734	△199,180
建物及び構築物(純額)	23,369	38,665
工具、器具及び備品	60,906	68,690
減価償却累計額	△50,854	△52,809
工具、器具及び備品(純額)	10,052	15,880
その他	5,037	5,037
減価償却累計額	△4,899	△4,899
その他(純額)	137	137
有形固定資産合計	33,559	54,683
無形固定資産		
のれん	19,603	13,179
その他	5,407	5,414
無形固定資産合計	25,010	18,593
投資その他の資産		
投資有価証券	66,617	99,989
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	11,932	11,932
差入保証金	88,660	132,004
繰延税金資産	2,096	1,063
その他	13,984	15,748
貸倒引当金	△36,755	△36,755
投資その他の資産合計	178,744	256,192
固定資産合計	237,315	329,469
資産合計	1,773,841	1,836,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,709	21,799
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	12,471	6,666
未払金	895,958	944,217
未払法人税等	6,232	2,415
未払消費税等	28,284	17,047
賞与引当金	2,070	1,320
株主優待引当金	15,658	4,942
契約負債	26,736	27,032
その他	46,548	46,830
流動負債合計	1,152,668	1,222,271
固定負債		
長期借入金	15,000	10,000
受入保証金	50,500	49,500
資産除去債務	7,268	7,309
退職給付に係る負債	1,807	1,710
役員退職慰労引当金	15,199	15,199
その他	25,554	34,826
固定負債合計	115,330	118,545
負債合計	1,267,999	1,340,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,600	215,600
資本剰余金	85,297	85,297
利益剰余金	224,406	190,587
自己株式	△20,513	△20,513
株主資本合計	504,790	470,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△925	22,343
その他の包括利益累計額合計	△925	22,343
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	505,842	495,292
負債純資産合計	1,773,841	1,836,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,387,422	1,381,437
売上原価	1,009,422	1,021,240
売上総利益	377,999	360,196
販売費及び一般管理費	375,033	386,215
営業利益又は営業損失(△)	2,966	△26,018
営業外収益		
受取利息	294	1,052
受取配当金	1,539	2,182
助成金収入	2,768	—
その他	494	646
営業外収益合計	5,097	3,881
営業外費用		
支払利息	1,282	1,620
為替差損	681	—
その他	103	2
営業外費用合計	2,067	1,622
経常利益又は経常損失(△)	5,996	△23,759
特別損失		
投資有価証券評価損	495	—
減損損失	—	1,021
特別損失合計	495	1,021
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	5,501	△24,781
法人税、住民税及び事業税	4,393	3,064
法人税等調整額	1,076	203
法人税等合計	5,469	3,267
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31	△28,048
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△28,048

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31	△28,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,372	23,269
その他の包括利益合計	△8,372	23,269
四半期包括利益	△8,341	△4,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,341	△4,779
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリア デザイン 事業	計		
売上高	691,056	172,312	285,313	88,409	213,420	1,450,512	△63,090	1,387,422
セグメント利益	48,279	52,268	9,464	57,003	11,277	178,293	△175,327	2,966

(注) 1. セグメント利益の調整額△175,327千円には、棚卸資産の調整額△22千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,304千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年7月1日至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリア デザイン 事業	計		
売上高	703,014	168,917	295,293	89,569	190,066	1,446,860	△65,423	1,381,437
セグメント利益	27,156	48,374	14,395	56,257	10,449	156,634	△182,652	△26,018

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,652千円には、棚卸資産の調整額△1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、事務所移転に伴う固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,021千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)	
減価償却費	10,744千円	減価償却費	10,339千円
のれんの償却額	10,052	のれんの償却額	6,423